(金沢)北条実時 武将。京都との関係が深く、学問を好み、金沢文庫の創設者となった。

ほうじょうさねとき

親鸞真宗始・1224 = 生。父は陸奥五郎実泰。母は天野政宗の女。_祖父は執権北条義時。

北条政子没・1225 = 1歳：

御成敗式目・1232 = 8歳：

・・・・・・1233 = 9歳：

金滅亡・・・・1234 = 10歳：小侍所別当。

鎌倉大仏始・1238 = 14歳：掃部助。

・・・・・・1241 = 17歳：_実時は北条氏のなかでは特異な存在で、宣陽門院蔵人をするなど京都との関係が深く、学問を好み、この頃から、儒家清原教隆について勉強。

北条泰時没・1242 = 18歳：

北条時頼執権1246 = 22歳：

宝治合戦・・・・1247 = 23歳：宝治合戦に際し、武蔵国六浦荘内の三浦氏残党を追捕して当地領し、

引付衆始・・・・1249 = 25歳：越後守に任官。

・・・・・・1251 = 27歳：

皇族將軍始・1252 = 28歳：_引付衆。

宋船制限・・・・1254 = 30歳：_評定衆。

北条時頼出家1256 = 32歳：

・・・・・・1258 = 34歳：*金沢の実時持仏堂で伝法灌頂を儀式行い、六浦荘地内の金沢に別業をもち金沢氏を称す。六浦湊は和賀江と並ぶ良港で、宋・元との貿易の基地として栄える。「源氏物語」を書写させる。

立正安国論・1260 = 36歳：

武家仏教確立1262 = 38歳：_仏教への帰依も深く、執権北条時頼とはかつて、南都西大寺の観尊を鎌倉に招き、別業の称名寺を真言律宗に改宗し、これが鎌倉における律宗繁栄の一つの契機となった。

北条時頼没・1263 = 39歳：_父実泰が死去。

・・・・・・1264 = 40歳：越訴奉行と、_幕府の重職を歴任。

_この間、熱心に内外の書籍を集める。

北条時宗執権1268 = 44歳：

蒙古対馬來航1269 = 45歳：父母の菩提追善のために梵鐘を鑄造、

・・・・・・1270 = 46歳：_書庫が火災に遭う一方、関与してきた「吾妻鏡」の前半部が完成。

元寇文永の役1274 = 50歳：

元使斬殺・・・・1275 = 51歳：_金沢の別業に引退してからは広範囲にわたって典籍の書写・校合に励み、金沢文庫の基礎を築いて、

・・・・・・1276 = 52歳：金沢の地で_没した。